

バイオ・ライフサイエンス



キーワード：知的集中、CTR、マイクロリフレッシュ、

知的作業時の集中の計測～応用利用

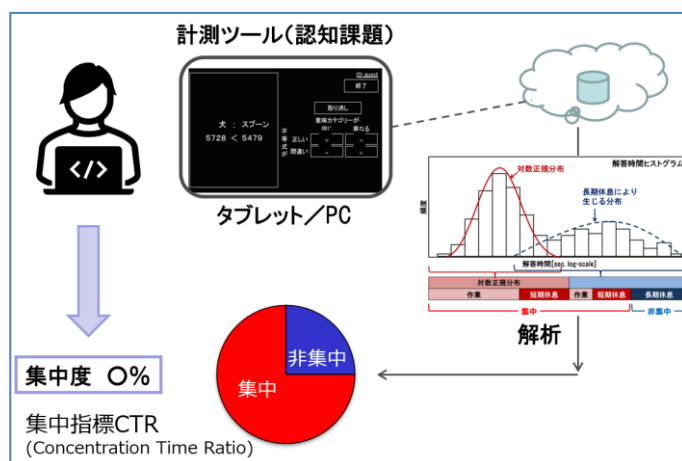
全学教育機構 教授

大林 史明 OBAYASHI Fumiaki

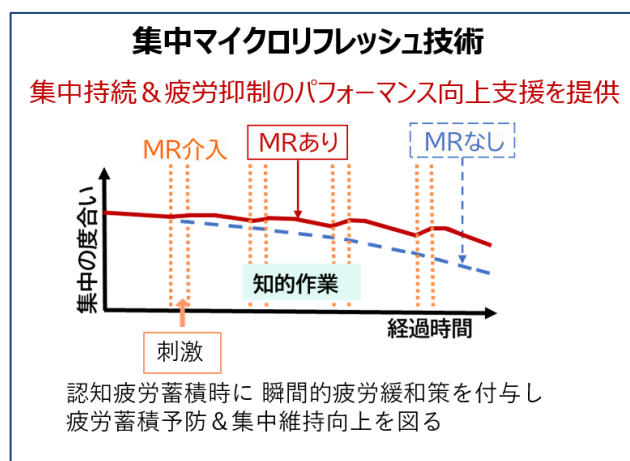
研究の内容

知的作業時の主要な認知要素を盛り込んだ認知タスクをユーザが実施。その回答所要時間データの分布特徴から集中していた時間を導出することで、集中度を客観的・定量的に算出します。また集中状態を詳細に解析し、人の内的要因や外部環境要因が与える影響や集中のメカニズム解明に取り組んでいます。さらに応用として、人の集中を支援する技術やオフィス作りなども提案しています。

※実業務中のオンサイト計測には対応していません



知的作業時の集中の評価技術



人の集中を支援する技術

産学連携・社会連携へのアピールポイント

勉強や仕事のような知的作業をする時の集中を客観的・定量的に計測する技術を保有しています。これを元に、人の集中のメカニズム解明や、外的要因・内的要因が集中に与える影響の評価、また集中に良い室内環境の開発などに取り組んでいます。

研究者総覧（大林 史明）

URL : https://gyoseki.setsunan.ac.jp/html/200000910_ja.html

